

ドイツを語るパトリック

Vol.10 交通機関についての考え



自 治医大から宇都宮駅までは20キロぐらいだ。ドイツで街と街の間を車で20キロ走ると、かかる時間はせいぜい20分だ。それに対して、たとえ朝3時に自治医大を出発したとしても、3時20分までに宇都宮駅に着くのは難しいだろう。ドイツの道と日本の道を比べると、日本の方が信号が多いことに気がつく。4号線で宇都宮に向かうと、4号線と合流する小さな道と信号があるところが多く、引っかかったら待つしかない。日本にはヨーロッパ各国で当たり前になってきた、交通の流れや交通安全などに非常に貢献するロータリーがひとつもない。今日の交通の流れの悪さの原因は、交通の流れを考えずに将来性のない計画を長年にわたって進め、そもそも限られているスペースを無駄遣いして道路と信号を増やしていったことである。弊害は流れの悪化だけではない。コンクリートに埋もれて緑が少なく、歩行者と自転車に乗る人に危険な住み心地の悪い街。郊外にあちこち適当に建てられた大型スーパーなど、どこに行っても代わり映えのしない顔のない街。これらも考えなしに道路と信号を増やした結果である。このような日本の街は、住んでいる人のためではなく、こういったコンクリートの大河を車で走っている人の都合に合わせて、作ってみたものだ。

もちろん日本だけでなく、全世界には同じような問題で苦しんでいる街がある。市内の交通量と共に排気ガスを減らすために、イギリスのロンドンとスウェーデンのストックホルムで、通行料金が導入された。市内の道路を使うと料金がかかるという制度で、時間帯によって料金が異なり、交通量が一番多い朝と夕方の通勤時間に料金が一番高い。通行料金の導入だけで、交通量は約15パーセント、そして事故の数が20パーセント減った。ストックホルムでは、その通行料金は公共交通機関に投資されたり、道路の整備に使われたりする。つまり、皆の税金でではなく、実際に道を使った人の支払った料金で道の整備をする。交通量が減ると共に道路の新設も減り、市外から車で通勤してくる人のニーズではなく、市民のニーズに合わせて、今まで車のために犠牲になっていたスペースや資源などを利用するのである。そして住み心地に直接繋がるような街計画に積極的に力を入れれば、市内が少しずつ車社会から歩行者社会に変わるだろう。

だ が、楽しいから毎日車で通勤しているわけではなく、車以外の交通手段がないから車を使っている上、いきなり通行料金を払わされると納得ができない人も多いだろう。でも、混雑は道が狭いから起こり、税金を払っているから道路を更に広くして

ほしいという考えだと、何も変わらない。そこで、郊外や市の端に位置している大きなショッピングセンターと街の中心部や、他の交通機関の施設(駅など)を、早く快適に結びつけるような、車より優先される便利な交通機関が必要になる。その交通機関とは、路面電車である。皆の納得を得るためには通行料金の導入と共に路面電車の整備が必要で、通行料のおかげで、現在交通に悪影響をもたらしている個人交通から路面電車に切り替える人も多くなり、道路の混雑が減り、路面電車の運営は黒字で行うことが可能になるだろう。

しかし路面電車だけで、将来の交通シナリオは完成ではない。多くの人は自分のニーズにふさわしくない車を持ち、それは時には大きすぎ、時には小さすぎる。たまに家族全員で出かけるために8人乗りの車を購入し、その車で通勤する人は珍しくない。でも、交通機関が発達すれば、実際に個人車を利用する回数が減る。個人車は使わない時にも駐車場代と税金がかかり、どんどん価値が下がるので、交通機関が発達すると個人車の必要感も薄くなる。たとえ、1年に1度家族全員で出かける時があったとしても、その時に自分のニーズに相応しい車を借りた方がお得だ。もちろん、このシナリオは家族全員が乗れる大きな車に限らない。そこで、将来の交通シナリオの中にまずは、個人車の代わりに、いつでもだれでも予約せず、簡単に利用できる、小さな共用軽自動車が登場する。運転免許を車のドアに合わせるだけで乗ることが可能で、料金は1分間に25円、1時間だと最大で1,150円かかる。市内だけでなく、市外でも利用できる、利用後にあちこちにある個別の駐車場などに駐車すれば、利用期間の終了時に、自動的に料金が計算される。こうした将来のシナリオの中で個人が車を持つことはほぼ無意味であるように思える。

こういったシナリオが実現されるまでは、後数十年間かかると思う人も多いだろう。だが、ドイツの南部にあるウルムで、ドイツの大手車メーカーはこの新交通機関をすでに実現させた。車の利用者は携帯電話で、利用可能な車の位置がすぐ分かり、ウルム市民の2割はこの新交通機関システムに参加している。今年から、アメリカのオースティンでも、同じ新交通機関が紹介された(<http://www.car2go.com>)。

車 を持っていない私は「車がないと不便じゃないか。たまにドライブに行きたくならないか」と時々聞かれる。だが、現在の交通の流れだと車で移動する時にいつもイライラするので、「日本で運転するより、胃カメラを飲んだ方が楽しい」と答えることが多い。